



こもれび 通信

2015.3.1(発行) No.4

山鹿市立 こもれび図書館 山鹿市山鹿987-3 TEL:43-1082



こもれびニュース

※山鹿市図書館 HP にも、図書館のお知らせや、図書館ブログ載せてます♪

★一般書コーナー特集

「3.11 ～東日本大震災 復興と教訓「あの日」を忘れない～」



2011年3月11日

東北地方を震源におきた巨大地震（東日本大震災）から、4年経とうとしています。

あの日、東日本大震災で何が起きていたのか？
もし、災害が起きたらどう対処すればいいのか？
この機会に、再度見つめ直してみませんか？

★上映会「図書館deシネマ」のご案内



- 【上映作品】「NHK特集ドラマ ラジオ」(約90分間)
- 【日時】 平成27年3月22日(日)14時～
- 【場所】 山鹿市民交流センター1階

※ 観覧無料・事前申込不要です

●【あらすじ】

東日本大震災の被災地・宮城県女川町。臨時災害放送局「女川さいがい FM」にアナウンサーとして参加した女子高生“某ちゃん”と仲間たちが、「ブログ」と「ラジオ」を経験し、自分自身を取り戻していく物語。

3月の展示

- ★「卒業～オクルコトバ～」(メインコーナー)
- ★「赤穂義士と山鹿」(郷土資料コーナー)
- ★「3.11」(一般書コーナー)
- ★「芥川賞・直木賞・本屋大賞」
(一般書コーナー)

- ★「旅にでよう！～卒業旅行～」(青春コーナー)
- ★「あなたもおひめさま 桃の節句」
(児童・絵本コーナー)



★こんなお尋ねありました ～図書館に聞いてみよう！！～

Q:「山鹿市役所庁舎前駐車場においてある石は、なんの石か？」

鍋田の石なのだろうか？」

A:(こもれび図書館 司書 M がお答えします)

山鹿市役所庁舎前 入り口付近に設置してある石について、山鹿市社会教育課文化係に確認をしました。この設置されている石は、「鍋田石」で間違いのないことです。



なべたいし ようけつぎょうかいがん
鍋田石(溶結凝灰岩)

山鹿市役所庁舎前駐車場や、山鹿市民文化交流センター側の縁石、さくら湯などにも使われております！

鍋田石は、古くから山鹿の鍋田地域で多く産出されていたため「鍋田石」と呼ばれています。

鍋田石＝溶結凝灰岩(通称「灰石(はいし)」とも言います)で、古代に起きた阿蘇の大規模な噴火の際の火山灰が固まって出来たものです。

軽くてやわらかい部類に入る石材で、加工がしやすく、国指定史跡「チブサン古墳」にも使われています。江戸時代には、標柱としても使われていました。

今回ご質問いただいた「鍋田石」については、こもれび図書館に所蔵されています以下の資料にも、詳しく記載されております。

- 『山鹿市史』上巻 山鹿市史編纂室(編) K219.4 ヤ
- 『湯の町山鹿物語「山鹿の歴史と観光のガイド」』原透湧(著) K291.9 ハ

ちなみに、図書館の貸出バックや図書利用カードにも載っている



←「山鹿市読書活動ロゴマーク」をご存知でしょうか？
国指定史跡「チブサン古墳」がモチーフになっています♪

今回のご質問をいただき、あらためて私たちの身近には、先人たちの残してくれた軌跡が沢山あふれているのだなと実感しました！素敵ですね♪

こもれび図書館では、郷土資料コーナーを設けて、ふるさとを知るお手伝いを行っております！
山鹿や熊本に関する「？」を図書館で調べてみませんか？お待ちしております！

★調査協力:山鹿市社会教育課文化係